

【Basic II】

筆記試験 <理論> 例題集 ③

(60分)

I. 次の楽譜を見て、各問に答えなさい。

1. ①～⑤のコード・ネームを書きなさい。

① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____ ⑤ _____

2. A～Cの2音間の音程を答えなさい。

A _____ B _____ C _____

3. この曲を短3度下に移調したときのKeyと調号を書きなさい。

(Key: _____)

●コード判別と音程に関する問題です。Basic IIでは、ノン・ダイアトニック・コードを含む基本的な種類のコードについて、構成音からコード・ネームを判別できることが必要です

(正解) 1. ① Em7 ② Dm7(b5) ③ Cmaj7 ④ Fmaj7 ⑤ G7 2. A.完全5度 B.増4度 C.長6度

3. A (major)

II. 次のコード進行を例のように分析し、度数と機能を記入しなさい。

(例) Key : C major

C	F	Dm7	G7	C	
(I)	(IV)	(II m7)	(V7)	(I)	← 度数
(T)	(S)	(S)	(D)	(T)	← 機能

(1) Key : B^b major

B ^b maj7	Gm7	Cm7	E ^b maj7	F7	
()	()	()	()	()	~
()	()	()	()	()	

(2) Key : G major

Cmaj7	Bm7	Em7	Am7	D7	Gmaj7	
()	()	()	()	()	()	~
()	()	()	()	()	()	

(3) Key : D minor

Dm7	B ^b maj7	Fmaj7	Gm7	Em7(^b 5)	A7	
()	()	()	()	()	()	~
()	()	()	()	()	()	

●ダイアトニック・コードの機能、度数に関する問題です。Basic IIでは、メジャー・キーおよびマイナー・キーのダイアトニック・コードを分析し、それぞれの機能と度数を導き出すことが求められます。

(正解) (1) Key : B^b major


B ^b maj7	Gm7	Cm7	E ^b maj7	F7	
(I maj7)	(VI m7)	(II m7)	(IV maj7)	(V7)	~
(T)	(T)	(S)	(S)	(D)	


(2) Key : G major


Cmaj7	Bm7	Em7	Am7	D7	Gmaj7	
(IV maj7)	(III m7)	(VI m7)	(II m7)	(V7)	(I maj7)	~
(S)	(T)	(T)	(S)	(D)	(T)	

(3) Key : D minor

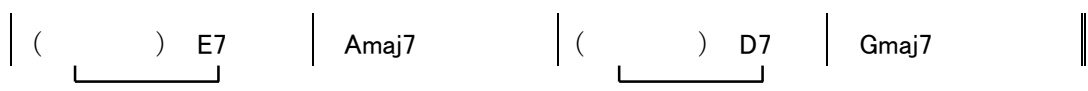
Dm7	B ^b maj7	Fmaj7	Gm7	Em7(^b 5)	A7	
(I m7)	(^b VI maj7)	(^b III maj7)	(IV m7)	(II m7(^b 5))	(V7)	~
(T)	(T (or Sm))	(T)	(Sm)	(Sm)	(D)	

Ⅲ. 下記の () にあてはまるコード・ネームを入れ、ドミナント・モーションになるようにしなさい。
 ( はドミナント・モーションを表しています。)

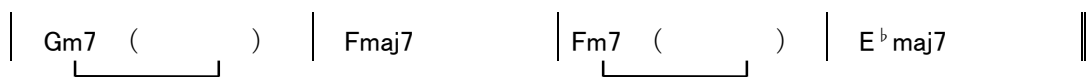


Ⅳ. 下記の () をうめて、トゥー・ファイブを作りなさい。( はトゥー・ファイブを表しています。)

(1)





(2)





Ⅴ. 下記のコード進行の () 内に適切なセカンダリー・ドミナントのコード・ネームを記入しなさい。

(1) Key : A major

機能	T	Sec.D	S	S	Sec.D	D	
コード	Amaj7	()	Dmaj7	Bm7	()	E7	~

(2) Key : E^b major


機能	T	D	Sec.D	T	Sec.D	T	
コード	E ^b maj7	Dm7 ^(b5)	()	Cm7	()	Gm7	~

●いずれもコード進行に関する問題です。特に重要な進行であるトゥー・ファイブおよびドミナント・モーションについて、元のコードおよび解決先のコードの両方向から正しく見つけ出すことが必要です。セカンダリー・ドミナントについても、解決先のコードへのドミナント・モーションから導き出すことができます。

(正解) Ⅲ. A7、G7、B^b maj7 Ⅳ. (1) Bm7、Am7 (2) C7、B^b7 Ⅴ. (1) A7、B7 (2) G7、D7


VI. () 内に正しいモード名（開始音名も明記すること）を記入しなさい。

(1)



()

(2)



()

(3)




()

(4)




()

(5)




()

(6)



()

(7)



()

●チャーチ・モードについての問題です。これについては『セオリー・オブ・ポピュラー&ジャズ 3』第10章 III (33ページ~) に詳しく書かれており、「アベイラブル・ノート・スケール」の基本となっているものです。メジャー・スケールの各音を開始音とする7種類の音階について、その名称と音程構成を把握しておきましょう。

- (正解) (1) E^b リディアン (2) A ロクリアン (3) G エオリアン (4) D フリジアン
(5) F ミクソリディアン (6) C ドリアン (7) B^b イオニアン

VII. 下記のメロディーに、左手のパートをつけなさい。

Gmaj7 Em7 Am7 D7

Bm7 E7 Am7 D7 G6

- 基本的なアレンジの課題です。伴奏形のパターンとコードネームを用いてアレンジすることが求められます。アレンジの内容（ボーシングやリズムパターンの変化など）は自由ですが、必要なコードトーンを配置しているか、音域が適切か、等がポイントになります。

(解答例)

Gmaj7 Em7 Am7 D7

Bm7 E7 Am7 D7 G6

VIII. 次の文章の（ ）にあてはまる語句、数字、または記号を書き入れなさい。

- (1) \flat VI $\text{maj}7$ 、 \flat II $\text{maj}7$ のコードは、いずれもコード・トーンに()の音を含んでいるため、()の代理コードとなる。
- (2) コード・トーン以外で、コードの上に積み上げて効果的に使用できる9th、11th、13th等の音を、()という。
- (3) コードのルートが()度上行、または()度下行するコード進行を総称して、「モーション・オブ・フィフス」という。
- (4) ()のコードは、V7の代理コードであり、俗に「裏コード」と呼ばれる。

●楽典や、音楽理論に関する用語の問題です。Basic II では、『セオリー・オブ・ポピュラー&ジャズ 2』と『ピアノ・パフォーマンス 2』の範囲から出題されますので、これらに出てくる用語を覚え、よく理解しておきましょう。

(正解) (1) \flat VI、サブドミナント・マイナー (2) テンション(・ノート) (3) 完全4、完全5 (4) \flat II7